

## 会 議 録

会議の名称	第4回 東由利地域協議会
開催日時	平成22年2月18日(木)午後1時30分
開催場所	東由利総合支所二階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	小松由子、石綿喜代隆、遠藤忠平
【会議次第】	
1. 開 会	
2. 会長挨拶	
3. 協 議	
・地域づくり推進事業について	
・地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業について	
・その他	
4. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

## 出席者名簿

(地域協議会委員 14名)

役職名	氏 名	備 考
会 長	長谷山 博 昭	
副 会 長	小 松 佳 和	
	渡 辺 幹 夫	
	小 松 彪	
	伊 東 文 雄	
	鈴 木 博	
	畠 山 与 一	
	小 松 正 武	
	阿 部 夕 子	
	高 橋 京 子	
	大日向 与志子	
	小 松 耕之助	
	長谷山 光	
	佐 野 陽 子	

理 事	猿 田 正 好	
総 合 支 所 長	伊 藤 俊 彦	
市 民 課 長	佐 藤 順 一	
福 祉 保 健 課 長	佐々木 喜 隆	
産 業 課 参 事 兼 課 長 補 佐	小 野 長 清	
建 設 課 長	柴 田 和 尋	
東 光 苑 施 設 長	大 庭 敏 昭	
教 育 学 習 課 長	高 橋 裕 子	
事 務 局	小助川 洋	

## 会議の経過

### 第4回 東由利地域協議会

と き 平成22年2月18日(木)  
午後1時30分～3時  
ところ 東由利総合支所二階  
第3・4・5会議室

1. 開 会 午後1時30分

2. 挨拶

(1) 会長挨拶

お忙しいところ、ご参集いただき感謝申し上げます。

地域協議会は昨年8月から始めて、今日で4回目となる。この間、公の施設の見直しや、東北では八戸と由利本荘などが総務省から認定されたという定住自立圏構想、そして最も新しい施策として地域づくり推進事業について、協議を頂いてきた。

今日の会議では地域づくり推進事業が主題である。前回の協議会では大方の事業を取り上げたが、引き続き今回、最終の協議会で決めていただきたい。

なお、資料にも添付してあるが、由利高原鉄道が開業して25年となる。25周年記念事業を開催すると考えているようだ。参考と言うことで資料を添付したが、ご協力できることはご協力頂きたい。

現在、冬季オリンピックが開催中であり、日本は念願のメダルを2つとったところである。テレビでは朝から晩まで、オリンピックのニュースを流しており、日本中が湧いている状態である。この一体感ということで賑わっているが、私たちの地域づくり推進事業も平成22年度からいよいよ始まる。地域一体となっがんばっていかればよいと思っている。

今日は短い時間ではあるが、よろしく願いしたい。

(2) 理事挨拶

今日で4回目の地域協議会ということで、今年度最後の協議会

となると思う。他の地域でもだいたい同じようなペースで4回目をやっているところである。今日は、次第にある通り、地域づくり推進事業の最終的な確認やとりまとめをお願いしたい。

今日、午前中に議会の運営委員会があつて出席してきたところだが、月曜日から定例議会が開会する。新年度予算の審議などがあるが、市長から議会の各会派への予算内示における最初の“うたい文句”は地域づくり推進事業から始まっている。額の多寡とは関係なく、各地域の独自性を出して欲しいという願いが市長の思いである。

この予算を獲得するために我々は全力を尽くしているところなので、来年度は皆さんにもぜひがんばっていただきたい。

地域協議会においては、総合支所と力を合わせてがんばっていただきたい。

### 3. 協 議

#### (1) 地域づくり推進事業について

伊藤総合支所長 | これまで第2回目の地域協議会において皆様からいろんなアイデアを出していただき、前回、そのアイデアをもとに取りまとめたものを報告させていただき、概ねの路線は承認いただいたと思っている。今回の資料には、前回無かった事業もあるので、それも併せて説明させていただきたい。

なお、計画額については概算であり、6月の定例議会までに精査を行い、積算していきたいと考えている。4月以降、詳細の打合せもしていきたいと思っているので、その点についてもお願いしたい。

小助川振興課主任 | (資料1説明)

議長 | 事務局から地域づくり推進事業について、8件の説明があつた。前々回の地域協議会で提案された事業を、ある程度まとめて第3回目の協議会で3つくらいに絞り、それを事業毎にわけて8事業にしたものである。事業主体については4団体という計画をたてたものである。事業内容や時期、場所については、皆様からご意見を頂きたい。

A委員	地域づくり推進事業で、宿の河川公園に桜の季節にこいのぼりをあげるが、あの事業へのイベントのグレードアップなど支援を検討いただきたい。また、宿地区では梁をかけて鮎漁をやったこともあるので、イベント内で川魚を食べながらこいのぼりや桜を眺めることも可能ではないか。
議長	宿地区のこいのぼりの事業について協力できることはないか、ということである。宿自治会と協議して協力していけないかということであり、また、築場の鮎を提供するミニイベントなどということのようである。
小助川振興課主任	以前、宿自治会からそのイベントについて補助金申請があった。しかし、その補助金が全市的イベントでないと採用できないため断った経緯がある。『広報ゆりほんじょう』でこいのぼり募集記事を載せる程度の支援となっている。
柴田建設課長	河川の草刈りを行うことについては、由利地域振興局の河川環境整備として年2回分の手間賃分の資金が支給される。
議長	河川敷の草刈りということで、鯉のぼり事業の助成と言うことではないようだ。
B委員	あの場所は河川公園になっているのか。
柴田建設課長	河川公園になっている。
議長	事務局からの説明では、『広報ゆりほんじょう』でこいのぼり募集記事を載せているということだが、宿自治会の方々はこいのぼりをあげるために資材等を集めて日にちを掛けてやっていると思う。結構な賑わいを見せているので良い案だが、なかなか気がつかなかった。
伊藤総合支所長	こいのぼりは善意による提供なので、イベントとして資金が必要なのは人件費の部分だが、その他としては花火をやっている。グレードアップする形にするためには、宿自治会や地域協議会の委員の皆さんと相談したい。今回の場合に間に合うか少し難しいところもあるので、相談していきたい。

A 委員

地域づくり推進事業の300万円については、従来要望してきた断られてきたものを取り入れられれば、地域づくりに結びつくだろうという主旨であり、今すぐということではない。

伊藤総合支所  
長

ご意見をいただいたもので取り入れられるものは取り入れたい。なお、他の地域では既存事業を20以上も採用しているところもある。それでどこまで地域づくりにつながるか検討した結果、東由利では地域を売り込んでいけるように新規事業中心にまとめた。確かに、宿のこいのぼりについては、PR性が高いので、今後相談させていただきたい。

C 委員

前回の協議会でも当事者から提案があったことだが、グリーンツーリズム研究会が主体となる大きな事業がある。田舎交流ツアーについては、通年事業で山や田畑など幅広く事業を行い、その受け皿となるのが研究会であるが、その当事者にとってはかなり荷が重すぎるのではないだろうかと思う。行政で予算を付けてお任せにする、言わば「丸投げ」という体制ではないかと危惧している。

桜の植樹についても、最終的には地域の関係者や集落の応援が不可欠であると思う。植樹するに当たって、宿河川公園の桜についても集中的に投入したらどうか。

また、宿のこいのぼりについては一週間以上の長期間、宿自治会で苦勞して実施しているが、ライトアップするなどのグレードアップを検討して欲しい。また秋には、宿河川公園のイチヨウについても、見に来る人が多いので、そのライトアップも検討して欲しい。

伊藤総合支所  
長

グリーンツーリズム研究会については、補助金として出る形になるため、受け皿を一つにしたいという事でこういう形になっている。山菜まつりやうまいものまつりとなると、グリーンツーリズム研究会の皆さんに全面的に負っていただくのは大変なので、特産物振興会なども巻き込んで行かないといけないのではないかと考えている。また、グリーンツーリズム事業の田舎交流ツアーも通年事業は大変であるので、市の産業課でも一緒になってやっていかないといけないと考えて動いているところである。

宿河川公園のグレードアップの案も大変良い案なので、併せて研究させていただきたい。例えば、秋に実施するものとして間に合うのであれば、組み替えなどにより対応したい。

議長

今回予算を計画額として計上しているが、できるだけ応用できるのであればそういう点も考えていかないといけない、というお話のようだ。

伊藤総合支所  
長

なお、桜植樹の事業について、計画額の50万円はあくまでも地域づくり推進事業としての金額であり、この他に市のふるさとさくら基金や県の緑化推進委員会の交付金、県の森づくり税事業などを活用していきたいと考えており、総事業費は百数十万円規模になると見込まれる。

議長

黄桜周遊ルート事業について、相当な規模になるという企画のようである。桜のオーナー制度は良い案である。桜の場合、維持管理が大変なので、その意味でもオーナー制度としてご協力いただければ良い。

伊藤総合支所  
長

個人オーナー制とする場合、実際の問題として、草刈りなどに継続的に出ることが難しいかもしれない。それが固定化する可能性もある。区間を区切って自治会オーナー制度というやり方もあるので、自治会や学校、企業などとも協力を得るよう考えたい。

議長

植えた後も10年後、20年後を見ると結構な年数となり、夢のある事業だと思う。

伊藤総合支所  
長

結構な年数となるが、継続して実現していきたい。

C委員

桜植樹については、国道107号線と袖山線の二本が提案されているが、これは同時進行か。

管理については、5年・10年の長期を考えていかないと思うが、オーナー制度を導入しても、最終的には地域が管理する形になるのではないだろうか。受け皿となる各種団体に対しては、若干の助成があれば管理がしやすいのではないか。

	<p>地域づくり推進事業について、8地域で同時に進んでいると思うが、他の地域の事業の地域協議会に対する公開は可能か。</p>
伊藤総合支所長	<p>植える場所は、国道、袖山線と県道仁賀保矢島館合線となる。22年度の植栽個所については検討中であるのでお時間を頂きたい。</p> <p>管理について、この事業では当面の間は植えることのみとなる。管理については、草刈りをご協力をお願いしたい。防除などは市の予算を確保していきたい。方法としては芋川河川敷と同様のものである。</p>
猿田理事	<p>他地域協議会の情報交換は確かに必要。先日、東由利で開催した8地域協議会会長・副会長連絡会議では、資料に基づきどのような事業があるのか情報交換を行った。議会にも同様に説明しないといけない。確定したものが出来たら報告したい。同じような取り組みをしているところもあるので、それぞれのやり方の意見交換をできるようにしたい。また、事業に共通点があれば、地域の垣根を越えて相互に交流してもらえると、さらにおもしろみも出てくるのではないか。</p>
D委員	<p>地域内の民間宿泊施設を使っただけということだが、対応可能な人数に限界がある。現在、規制緩和で一般（民家）の座敷も宿泊可能になっており、やっても良いと言う人もいるかもしれない。せっかく来て下さったお客さんを断るのももったいない。専門に取り組んでいる行政機関にも相談して欲しい。家族の理解やプライバシーなどの問題にも考慮した上で、一般の方の宿泊も検討して欲しい。</p>
E委員	<p>この宿泊や民宿の関係については、産業課が所管か。</p>
伊藤総合支所長	<p>グリーンツーリズム自体の話になるようなので、その所管は産業課になる。</p>
E委員	<p>規制緩和とは何か。</p>
D委員	<p>一般家屋に対する宿泊の許可のこと。素泊まりについての許可のようだ。その辺を勉強してやってみてもらえれば、グリー</p>

	ンツーリズム事業が大変良くなるのではないか。
伊藤総合支所 長	ありがとうございます。
E 委員	(説明について)わかりました。
F 委員	黄桜周遊ルート of 植樹に大変興味がある。八塩山の黄桜は全 県や東北でも有名なので、そのルートがますます良くなると期 待している。先ほどC委員からお話しもあったが、集落からの 応援も大事である。その意味で、場所の選定などをいち早くや って欲しい。 グリーンツーリズム事業については、たった一つイベントを やるのも大変な人手と手間がかかるので、早め早めに準備して いかないと実行が出来ない。皆さんの応援をいただきながらや っていけば良いと思う。
D 委員	本当に確実に出来ることがあって、加えて、協力できる人が いないといけないと思う。二足のわらじではできないとも言う。 続けられるようにしていくことが大事である。
G 委員	できないことをできるようにするような特殊な人が必要。
伊藤総合支所 長	桜について、総合支所だよりに掲載するなどの方法で、地域 の方々にPRして協力をお願いしていきたい。
G 委員	横手方面から来る場合、五海保の山もいいのではないか。
議長	良い意見は反映してもらいたい。
G 委員	黄色の杉・アオヤジロを観光に結びつけられないか。培養で できるのならば、培養して黄金の森にできると良い。黄桜と対応 して、黄金のまちづくりができる。
H 委員	アオヤジロについては、宣伝についてはやめていただきたい と森林組合では言っている。差し木で増えるのだが、その増や す技術が確実にあって、たくさん苗木ができるようになってか

らにして欲しい。

F 委員 林業センターにお願いすればできるのではないか。

H 委員 木全部が黄色ではなく、黄色の個所のみ切り取って差し木が可能かということすら、まだ不明であるのでもう少しお待ち願いたい。

F 委員 専門家に依頼して、できるようになったらいち早く手を挙げて欲しい。

H 委員 そのように行動している。

議長 今日のスケジュールの確認をしたい。資料3をこの後説明し、その後資料2を説明する。

(2) 地域活性化きめ細かな臨時交付金事業について

各課長 (資料の説明)

E 委員 この事業は22年度事業か。

建設課長 2月の臨時議会で議決された、国の二次補正事業であり、発注は3月～4月にかかるが繰越事業となる。

(3) その他

小助川振興課 (資料の説明)

主任

議長 由利高原鉄道支援について、先般開催された8地域協議会会長・副会長連絡会議で矢島地域協議会会長より説明された内容である。矢島地域協議会会長は、由利高原鉄道の運営委員会長でもあり、他の地域協議会にも支援をいただくということ。アシストクラブの支援は、我々でも支援できるものではないだろうか。鯉のぼりについては、宿河川公園も鯉のぼりを募集しているので厳しいと思う。

由利高原鉄道に乗っていただくことは大事なことである。経

営上、由利高原鉄道は大変である。少しでも収益を上げなくては、と会社は大変努力している。ひな街道でもおひなっこ列車などを企画しているようであり、イベントを活用して鉄道を利用していただこうと努力しているが、なかなか利用者が少なく赤字が出ているという状況のようだ。

25周年記念事業支援として5万円という支援についても検討したが、地域づくり推進事業では主旨が違わないかと考え、当地域協議会では案件として提案はしなかったものである。

東由利地域は由利高原鉄道の沿線ではないが、市の進めている地域公共交通再生活活性化協議会でも、羽後交通や由利高原鉄道まで含めて、利用促進やバリアフリー化なども検討している。地域住民の足の確保を市で考えているので、ご支援をお願いしたい。

なお、由利高原鉄道の「慕情 子吉川」というCDもある。良い曲だと聞いている。ここまで宣伝しながら、市民の方々や市外の方々に由利高原鉄道を利用していただこうというものである。鳥海山などの観光と絡めながら活性化につなげようというものである。

議長

地域づくり推進事業について、質問は。

I 委員

先ほど宿泊施設のご発言があったことについて。かつて、中学校の部活動の交流があって、玉米、下郷、田代、軽井沢、仙道の五中学校のスポーツ交流があった。その際にそれぞれの当番地域で泊まることになったが、民泊など昔から人を受け入れる素地もあった。東由利でも民泊を受け入れる人もいないか。

また、黄桜まつりや八塩山環境整備について。他県から八塩山に来ている人から、樹種の質問を良くされるので、できれば山の案内人をピックアップして、そういう役割の人を置くのはどうか。特に八塩登山も増えているので、山菜や山野草に詳しい人などが地域にいと聞いたので、登録制ガイドを設けるとどうだろうか。

J 委員

意見ではないが、東京東由利会のことについて、私の兄がか

つて何年か役員になっていたもので、懐かしく思っている。お礼を言いたいと思っていたところである。

K 委員 今、I 委員が話した山菜採りについて、地主から山に入っ  
てはいけないと言われたという話を聞いたことがあるが、地主の  
方の許可はどうなるのか。

佐藤市民課長 森林法では採取可能となっている。

K 委員 何か事故等があっては困る、ということもあるようだ。

伊藤総合支所 入山したからと言って、法に触れるとかまであるわけではな  
長 い。一方で、所有者意識もある。

E 委員 山火事や荒らされるのが怖いのだろうと思う。

伊藤総合支所 マナーについては市としては訴えていく必要がある。  
長

E 委員 山野草を根こそぎ持って行かれたという話もあり、それはい  
かがなものか。

L 委員 車で入りやすいところがあって、水芭蕉を全部持って行かれ  
たこともある。

B 委員 八塩登山口付近の土地に「私有地につき入山禁止」という看  
板を立てた。地主が何も言わないから、断りもなく自由に採っ  
て良いというのはおかしい。

E 委員 大台の山はワラビの宝庫だったのが痩せてしまったことがあ  
るが、これは乱獲が原因ではないか。

B 委員 八塩山の付近でも根こそぎ乱獲された。

E 委員 マナーを守ってもらわないと困る。八塩いこいの森の環境整  
備に関連するところもある。機会をとらえて我々も訴えていか  
ないといけない。

I 委員	いずれ、立て看板を立てるなどの対応をよろしくお願いしたい。
E 委員	この予算の中で、木の名札のことがあるが、木々の名前だけでなく、「山野草を大事にしましょう」と言ったキャッチフレーズも必要になると思う。
伊藤総合支所長	この後、議会が始まるが、新年度予算では各総合支所に300万円の予算が計上されておらず、各地域でやる内容を積算して6月の議会で組み替えるというやり方になる。今回の案を元に積算して6月に予算を作りたい。 そのときには平成22年度第1回目の地域協議会を開催する時期になるので、その際に皆さんに提示したいのでよろしくお願いしたい。
G 委員	22年度地域づくり推進事業と、資料3の地域活性化・きめ細かな臨時交付金というのと関係はあるのか。
伊藤総合支所長	資料3については、国の平成21年度二次補正予算による交付金のもので、いわゆる景気対策のものである。それについて市で予算化したという内容である。
小松佳和副会長	熱心な論議ありがとうございます。 10年後の東由利が桜にいっぱいなるのかなという夢がある。アオヤジロも合わせて金色の山という話もあった。アオヤジロについてのPRは今しばらく待つて欲しい。 地域協議会をますます充実させて、東由利地域が発展できるようにお願いしたい。

4 . 閉 会 午後3時